

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
17107004	神経突起形成のマスター分子 Protrudin の発見と機能解析	中山 敬一（九州大学・生体防御医学研究所・教授）	A
<p>神経突起形成に必要な分子として Protrudin を発見し、その機能解析を目指している。すでに Protrudin が神経突起形成において脂質結合活性を介して、方向限定性の膜輸送システムに関与している事を明らかにするなど着実に成果をあげている。</p> <p>今後、Protrudin と複合体を形成する蛋白質群の解析を進める事により、神経突起先端への細胞膜成分の分子輸送の詳細な機序の解明を期待したい。さらに、個体レベルでの解析結果が得られれば、神経変性疾患解明の一助となる可能性を秘めており、大きな展開が予想される。</p>			